

燃費向上の一環にハイブリット導入

中田商事

はこのほど、ハイブリットトラックを二台（二ト車と三ト車）導入した。同社長は利益の出る環境づくりを常に考えており、燃費向上の一環として今回の導入に踏み切った。

ハイブリットトラックは普通トラックと比較し、二〇%の燃費向上が可能とされ、長い目で見れば運送原価の削減につながる。同社長は「車両も大切な商品として考える」と述べ、そのための「費用は惜しまない」と言う。実際に同社車両にはすべて、デジタコはもとよりドライブレコーダーなど、安全に関する最先端の装備が施されている。

「コストとして考えるから、多くの事業者は導入に二の足を踏む。私はこれらの機器は利益を生むためのシステムと捉えている」と、同社長は話す。また、普及率が低いハイブリット車だけに、周囲

からの注目度も抜群のようだ。

と、同社長は話す。また、普及率が低いハイブリット車だけに、周囲



導入されたハイブリットトラック

【三重】中田商事（中田純一社長、伊賀市）

（釣川元子）